

京都SDGsパートナー登録証



運転代行合同会社は、
SDGs、CO₂ゼロに
取り組むことを宣言します。

●2030年のSDGs達成に向けた目指す姿と運営・事業方針●

運転代行合同会社は、運転代行サービスの普及のため、より利用しやすいシステムへの改修や地域の運転代行業者との連携強化に取り組むだけでなく、飲酒運転の危険性を啓発するため、地域での啓発キャンペーンや安全運転に関する情報提供を行うことで、「すべての人に健康と福祉を」に繋がる飲酒運転の完全撲滅を目指します。

●SDGsに関する重点的な取組●

地域社会と連携し飲酒運転撲滅運動等の啓発キャンペーンを実施し、安全運転の徹底や飲酒運転の危険性を周知するとともに、運転代行サービスの普及を行うことで、飲酒運転による事故撲滅に繋げ、地域社会の健康と安全の向上に貢献します。

運転代行サービスの予約システムや運営管理システム、顧客管理などのデジタル化を進めることで、効率的な業務プロセス構築による管理業務のコスト削減と、リモートワークや柔軟な勤務スケジュールによる従業員のワークライフバランスの向上に取り組めます。また、他の運転代行業者へのIT化のサポートも行い、業界全体のデジタル化も進めています。

業界全体で可能な限りCO₂排出量を低減するため、運転代行業者を対象に、エコドライブのトレーニングプログラムを実施し、無駄のない加減速や速度維持の方法から車両メンテナンスの重要性に至るまで、燃料消費効率を高め、環境に優しい運転方法を伝えています。

●文化や地域活動に関する重点的な取組●

地域住民の健康と安全を守るために、十日市まつりなどの地元のイベントやお祭りなどに参加し、飲酒運転撲滅キャンペーンを展開・周知することで地域における安全意識の高揚を図ります。

2024年3月29日
(登録番号:00351)

運転代行合同会社
代表社員 小林 尚貴



京都市長
松井 秀治

